

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立入野小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員が協働して、取り組む体制が整ってきたが、学力向上については、授業改善に力を入れるとともに、低学年からいかに学力を積み上げていくかを検討していく。</li> <li>行事等の見直しを継続しながら、職員一人一人が心身健康に業務にあたることができるように、働き方改革・メンタルヘルスに力をいれていく必要がある。</li> <li>中学校区での学校統合の話合いも始まっているため、統合後のことも考えて、隣接する小学校間で更に情報交換を行い、共通した指導についても考えていく。</li> </ul>
2 学校教育目標	自ら学び、仲間と協働し、地域の未来を創り出す入野っ子の育成
3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>安心・安全な学校（子どもに関わる事故0、感染症対策）</li> <li>学力向上（複式の解消を含めた学力保障）</li> <li>体験活動の充実（『本物に触れる体験』・『感動体験』）</li> </ol>

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上						
	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	●早期にマイプランを立て、実践ふり返りを定期的に行う。 ●校内研修や学年会で良い実践を紹介したり、情報共有したりする。							●学力向上対策コーディネーター ●研究主任
	○基礎的・基本的な学習内容の定着	○ミニテスト等を継続して行い、学習内容の定着に日々力を入れた教師80%以上	●スキルタイムや授業のはじめに、算数科を中心にミニテストを実施する。 ●個に応じた学習の定着を細やかに把握し、支援や補充をより一層行う。							●学力向上対策コーディネーター ●研究主任
●心の教育										
	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳の授業や心の広場(人権集会)で、現状や今後について振り返りができた児童80%以上	●心の広場や学級活動等全教育活動を通して、人権の大切さを伝えていく。 ●道徳の授業実践を重ね、子どもの変容を見取るために道徳ノートを活用する。							道徳教育推進教師 人権・同和教育担当者 各学年主任
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○毎月の生活アンケート後、必要に応じて面談を行い、生活協議会で情報共有、早期発見、早期対応した教師100%	●月末に生活アンケートを行い、早期発見のつなげ、気付き等を共有する。 ●毎月の生活指導協議会で共通理解し、組織的に対応する。							生活部 (副)各学年主任
	◎志を高める教育	○体験活動を通して充実感を味わい、地域に目を向けたり、いろいろな職業に興味をもったりした児童80%以上	●体験活動を通して地域についての学習を深め、キャリア教育を充実していく。 ●地域の人材バンクを活用し、郷土について学ぶ体験活動を整備していく。							特活部 (主)教務主任 (副)各教科主任
●健康・体づくり										
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒90%以上 ○朝食を採って登校する児童90%以上	●年に2回の「お弁当の日」を活用して、元気に学校に来るためには食事をバランスよく取る事が大切であることを意識づける。 ●よい子のくらし点検の項目に「朝食」に関してあげること、朝食を食べてこようとする意識を高める。							食育推進担当者 保健主事 栄養教諭 学校栄養職員 食育推進担当者
	○外で体を動かすことを楽しむ児童の育成	○縦割り活動やマラソントイムなどを含め、休み時間等に外や体育館で体を動かした児童70%以上	●放送委員会など、児童による呼びかけもを行い、天気やよい日は外で過ごす学校全体の雰囲気を作成していく。 ●たてわり班活動などで、外で遊ぶ活動を多く取り入れるようにする。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進										
	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	●互いに声を掛け合い、退勤目標時間を意識して業務に取り組む。 ●業務効率化につながるアイデアを出し合い、時間を生み出す努力を続ける。							管理職
	○職員の連携強化による計画的な業務推進	○時間を意識し、連携して業務に取り組めた職員の割合80%以上	●行事等への取組後の振り返りを共有し、次に向けた改善点を明確にする。 ●各部署で提案内容を検討し、見直しをもって業務に取り組めるようにする。							管理職

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○特別支援教育						
	○特別支援教育校内体制の再構築	○2学級となった支援学級の違いを理解し、交流学級や学校全体での活動に積極的に関わった職員80%以上	●毎月1回の校内研修を行い児童の共通理解や特別支援教育への理解を深める。 ●特別支援に関する研修会を演習を含めた形式で実施する。							特別支援教育コーディネーター
○安心・安全な学校づくり										
	○学校からの細やかな情報発信と、安全教育の充実	○細やかな情報発信を行った教師80%以上 ○各種避難訓練を振り返り、改善点を考えた教師80%以上	●組織で対応できるように、日頃から報告・連絡・相談を行う。 ●体験的に学習させ、ふり返りを充実させることで、しっかり身につけさせる。							●生活部 ●教頭
○小小連携・小中連携の推進										
	○学校統合を視野に入れた小小連携・小中連携	○中学校区における各部会の取組を理	●互いの授業参観等を継続し、情報共有を図るとともに、中学校区での取組を継続していく。統合を念頭におき、各部会を中心に共通の取組を増やしていく。							●小中連携担当 ●幼小連携担当 ●教務主任

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
--------------------	---